

ダイコン

1 畑の準備

土作り

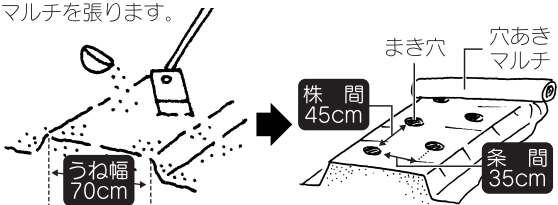
種まきの2週間以上前までに苦土石灰、堆肥をまきます。ダイコンは根が深く張る作物ですので、出来るだけ深く耕します。その際に、又根やヒゲ根の原因になる小石や枝などの異物は、丁寧に取り除いておきましょう。



土作り
 ・苦土石灰：1㎡あたり100～120g
 ・JAファーム有機堆肥：1㎡あたり2～3kg

元肥・うね立て・マルチ張り

種まきの1週間前までに元肥をまき、うね立てを行い、穴あきマルチを張ります。

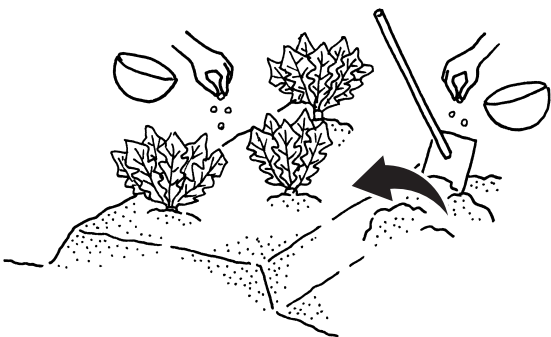


元肥 ・JAファームだいこん専用肥料：1㎡あたり60g～70g(ひと握り約40～50g)

4 追肥・土寄せ

間引きの度に株元へ、「JAファームやさいの追肥」1㎡あたり約15～20gの追肥を行い、土寄せも行います。

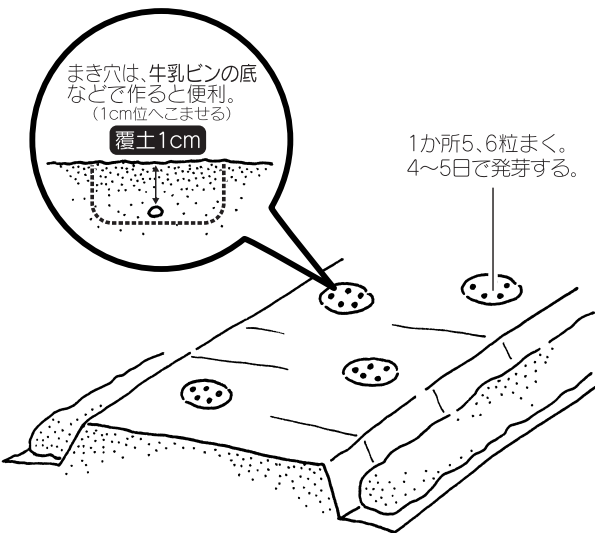
マルチ栽培の場合は3回目の間引き後、マルチをめくり上げ、うね肩部に同量の追肥を行い、併せて土寄せも行いましょう。



! 土寄せの際、葉の間に土が入らないように注意!!

2 種まき

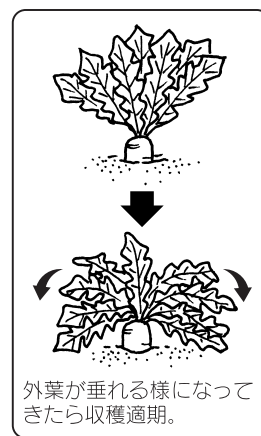
1穴につき、5～6粒ずつ種まきをします。覆土は1cmかけ、軽く押さえ十分なかん水を行いましょ。



5 収穫

外葉が開き気味になり、垂れる様になったら収穫適期です。収穫が遅れると「す入り」(根の内部に空洞ができる)の原因になりますので注意してください。

- ・夏どり品種…種まきから50～60日が収穫の目安。
- ・秋どり品種…種まきから60～80日が収穫の目安。



外葉が垂れる様になってきたら収穫適期。



手で引き抜く

3 間引き

発芽したものをよく見ると、双葉の形や大きさが色々です。できるだけ左右の大きさの揃ったものを残しましょう。

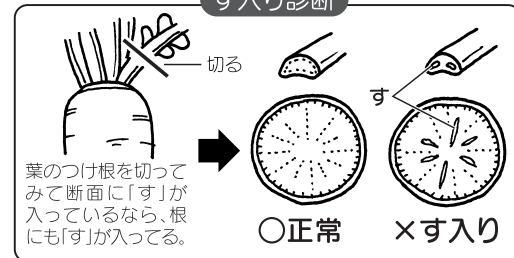
残す苗の判断の目安



- 第1回目間引き (種まきから約10日目) 本葉1枚の頃、間引いて3本立てに。
- 第2回目間引き (約20日目) 本葉3～4枚の頃、間引いて2本立てに。
- 第3回目間引き (約35日目) 本葉6～7枚の頃、1本立てにする。

※残す苗を一緒に抜かないよう、3回目はハサミを使うと良い。

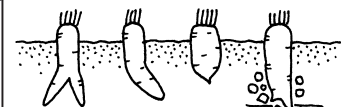
す入り診断



葉のつけ根を切ってみて断面に「す」が入っているなら、根にも「す」が入ってる。

○正常 ×す入り

ダイコンの奇形根の発生



■岐根 ■曲がり ■すづまり ■石 未熟堆肥

土の中に異物(石ころ、未熟堆肥など)がある時、または下層土が硬い場合、幼苗期の害虫、風害などにより、岐根・曲がり・すづまりなどになる。

科名	アブラナ科
原産地	地中海沿岸
連作障害	なし

制作
JAファーム 専門部会
 (無断転載禁止)